

まちなかキッチンスタジオ建設及び
農村環境改善センター利活用に関する
基本構想（案）

中札内村

令和5年1月

第1章 まちなかキッチンスタジオ建設及び農村環境改善センター

利活用の背景

1. はじめに

平成27年度に村民委員で構成する「まちなかにぎわいづくり委員会」から、まちなかにぎわいづくりのため、人と人を「食」でつなげる村民が集う「まちなかキッチンスタジオ」（以下「キッチンスタジオ」という。）を創設するという提言（以下「提言書」という。）がありました。

この提言書では、「道の駅なかさつない『カントリープラザ』調理実習室（加工調理施設）（以下「カントリープラザ調理実習室」という。）の機能をまちなかに移動させることで利便性を高め、多機能化による魅力の向上を図る」とされ、村ではこの間、カントリープラザ調理実習室の機能を持たせた「キッチンスタジオ」の創設を協議してきたところです。

本構想は、キッチンスタジオの新築の指針となる基本的な考えを示すものであり、今後策定される「実施設計」において、より詳細な検討・設計を行う際の指針となるものです。

2. 経過

平成26年6月に「まちなかにぎわいづくり委員会」を立ち上げ協議する中で、まちなかの顔である中心市街地（まちなか）に「活気がない」「気軽に集える場所がない」という課題から、まちなかに「人が集う」仕組みづくりや場所づくりが必要だとされてきました。

提言書に基づき、村ではキッチンスタジオの設置を検討してきましたが、提言された当時は、まちなかに適した場所がありませんでした。

また、民間の飲食店の出店も続いたため、民間活力と競合しないよう配慮する必要がありました。

このような状況の中、役場庁舎移転の決定に伴い、まちなかにさらなる空洞化の懸念が生まれたため、キッチンスタジオ設置の実現に向けて前向きに協議することとなりました。

キッチンスタジオ設置については、役場旧庁舎跡地を利用して新築する案と、中札内村農村環境改善センター（以下「改善センター」という。）を改修する案を並行して検討してきましたが、役場旧庁舎跡地に新築することにより、併設する改善センターの利用の幅が広がる可能性があることから、役場旧庁舎跡地に新築することに決定しました。

第2章 コンセプト

1. 施設全体のコンセプト

キッチンスタジオには、誰でも気軽に料理が可能なレンタルキッチンスペースと食品加工が可能な加工調理室スペースを整備することによって、料理教室や料理講習会のほか、これまでカントリープラザ調理実習室を利用していた団体等の代替施設としての役割を果たすなど、さまざまな事業展開が可能な施設を目指します。

また、食事スペースを設けることによって、調理スペースと一体的な利用が可能となるとともに、料理教室等で使用していない時間帯には、親しい仲間による談話やサークル活動などで利用が可能な施設を目指します。

改善センターはキッチンスタジオと併設することにより、一体的な利用が可能な施設として、大人数での交流会など誰もが気軽に利用しやすい憩いの場を目指します。

2. 施設ごとの機能等

(1) キッチンスタジオの機能

<共通事項>

- ・食品衛生法の基準を満たす施設とします。
- ・Wi-Fi等のインターネット環境を整備します。

<レンタルキッチン>

- ・家庭的な調理器具を中心とした誰もが利用しやすいキッチンを整備します。
- ・25名程度（24名＋講師1）の料理教室等が実施できるキッチンを整備します。
- ・大型モニターを活用した料理教室等が実施できるキッチンを整備します。

<加工調理室>

- ・カントリープラザ調理実習室の代替施設として調理室を整備します。
- ・加工品の試作等が可能な調理室を整備します。
- ・給食交流会など大人数の調理が可能な調理室を整備します。

<食事スペース>

- ・レンタルキッチン、加工調理室と分けて設置します。
- ・誰でも利用が可能な施設として時間帯を区切った使用方法を検討します。

(2) キッチンスタジオの活用方法

- ・七色献立プロジェクトによる活動（農協青年部、食育サポーター、関係団体と連携した食育事業など）
- ・各種料理教室（誰もが気軽に集まれる教室、食育サポーターや外部講師を招いての教室、地元の食材を使った教室など）
- ・各種料理講習会（健康料理、妊婦・乳幼児、親しい仲間による料理講習会など）
- ・食文化の伝承・継承

- ・社会福祉協議会の給食交流会
- ・行政区や親しい仲間による懇親の場（飲酒が可能な施設）
- ・食に関する各種イベント
- ・川越市中学生交流事業や国際交流事業等の料理体験
- ・加工調理室を利用して加工品の試作・販売
- ・災害に備えた調理体験

（３）改善センターの機能

＜共通事項＞

- ・Wi-Fi（有線含む）等のインターネット環境を整備します。

＜１階＞

- ・サロンスペース、休憩スペースを整備します。
- ・給食交流会など大人数での利用が可能な施設とします。
- ・チャレンジショップなど誰でも気軽に販売することができる方法を検討します。
- ・福祉交流の拠点として高齢者等が気軽に利用できる方法を検討します。

＜２階＞

- ・会議室機能を継続します。
- ・個人用のワークスペースを整備します。

第３章 キッチンスタジオの建設方針

１．キッチンスタジオ建設の基本理念

役場旧庁舎跡地の中心市街地に建設することによって、多くの村民が訪れる場所として、誰もが利用しやすく地域コミュニティの活性化を図る場所となることを目指します。

また、ユニバーサルデザイン（障がいのある方や高齢者などの区分なしにすべての人にとって使いやすいようにデザインされたもの）に配慮し、コンパクトで機能的なキッチンスタジオを目指します。

さまざまな事業を実施するためには、キッチンスタジオと改善センターの間を渡り廊下でつなぎ、両施設を一体的に利用できる環境を整えます。

２．維持管理を考慮した建物の建築

財政状況が厳しさを増す中、自主財源の乏しい財政基盤においてキッチンスタジオ及び改善センターの改修を行うには、建設や維持管理コストを十分に認識しながら進めていく必要があります。

また、キッチンスタジオの使いやすさを重視するとともに、修繕や清掃などの維持管

理が容易に行え、かつ長期的なコストの低減が図れる建物とします。

3. 景観に配慮した施設

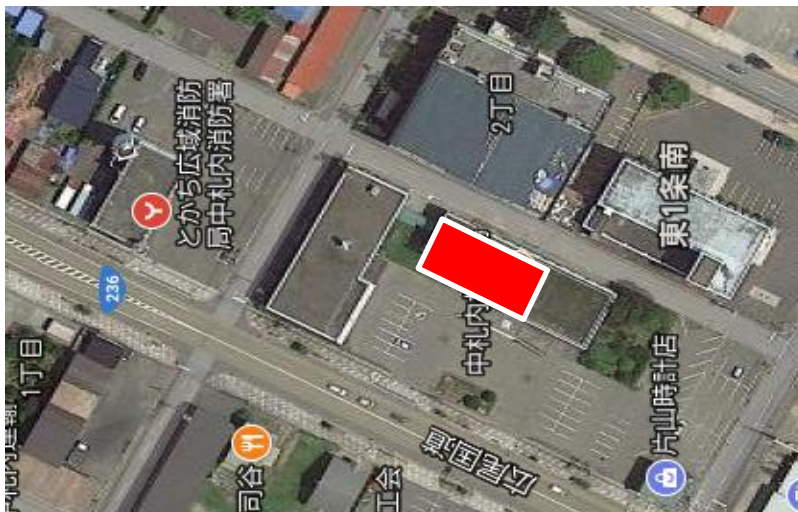
本村は「日本で最も美しい村」連合に加盟し、「豊かな自然を未来につなぐふるさと景観条例」を制定しています。

キッチンスタジオを新築及び改善センターを改修するにあたり、景観形成に関する適切な配慮を行い、人々に快適さや安らぎをもたらす施設及び周辺整備を行います。

第4章 キッチンスタジオの建設位置

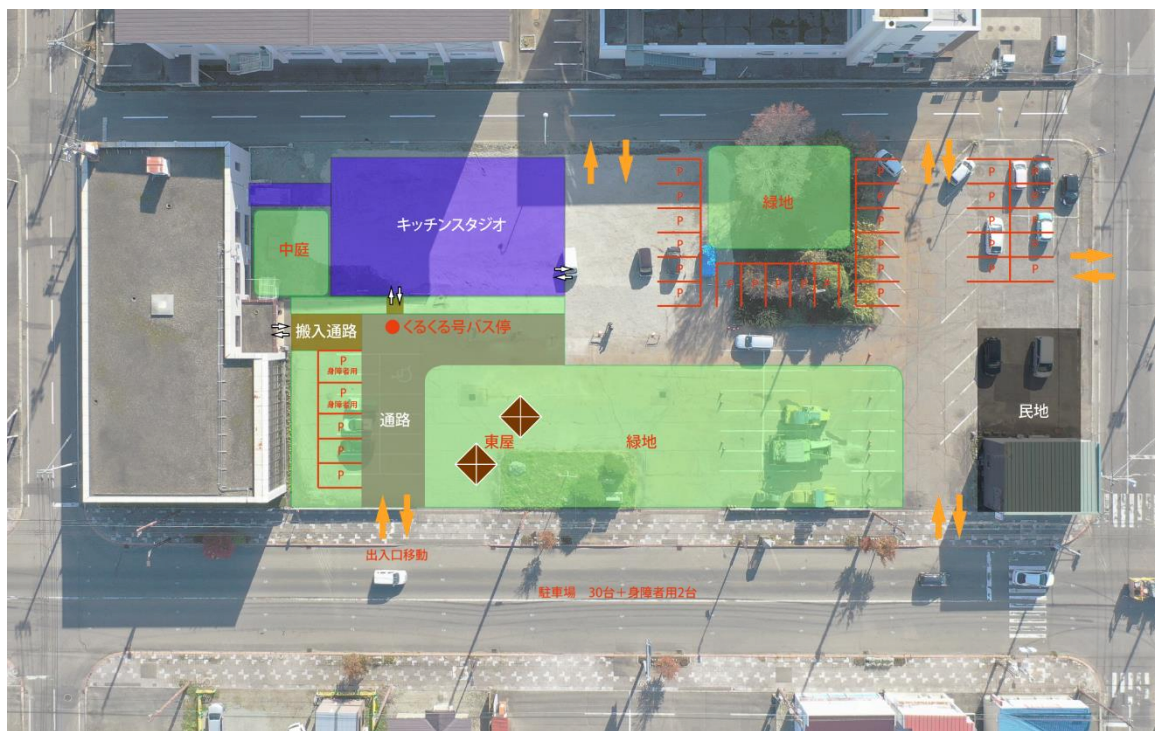
1. 建設予定地及び規模

中札内村大通南2丁目3番地（役場旧庁舎跡地）に木造平屋建（380 m²程度）で新築します。



2. 外構工事（駐車場、緑地の整備など）

キッチンスタジオ及び改善センターは、中心市街地に位置する施設であることから、外構は周辺環境に配慮し、緑地帯を整備するほか、コミュニティバス停留所を確保し、両施設利用者のための駐車場等を整備します。(駐車場は30台程度)



第5章 事業費及び財源

1. 概算事業費

概算事業費については、以下のとおり試算しています。ただし、資材価格の高騰など、今後の社会情勢による変動や、現在想定している以外の工事の発注も考えられます。

■概算事業費の試算

実施事業	金額（千円）	備 考
基本・実施設計費	19,250	契約金額（令和４年度契約済）
工事管理業務	7,400	令和４年９月算定（概算）
建設・電気・機械工事	268,000	令和４年９月算定（概算）※百万円未満切り上げ
厨房機器工事	33,000	令和４年９月算定（概算）
その他備品購入費	3,000	概算
合計	330,650	

※参考：外構工事（実施設計含む） 85,000 千円（概算） 令和5～6年度予定

2. 財源

財源については、以下のとおり試算しています。

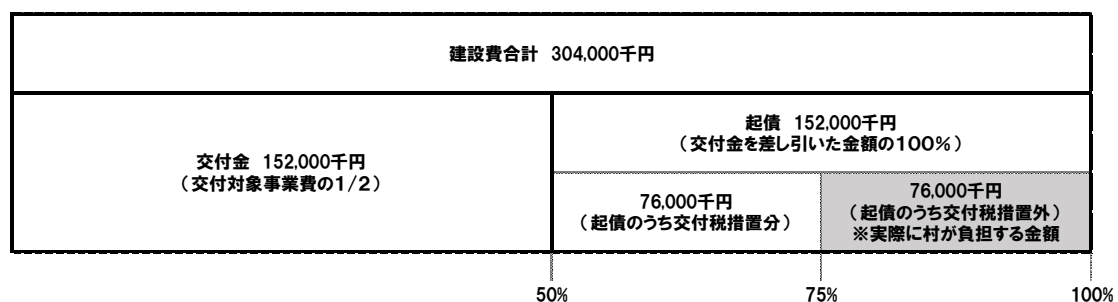
■財源の内訳

費 目	金額（千円）	基金	交付金	起債	一般財源
基本・実施設計費	19,250	19,200			50
工事管理業務	7,400				7,400
建設費（工事、備品購入） ※下段（ ）は交付税措置分	304,000		152,000	152,000 (76,000)	
合計	330,650	19,200	152,000	152,000	7,450

※基本・実施設計費に係る村の基金は「ふるさと活性化基金」を活用します。

※建設費に係る交付金は、デジタル田園都市国家構想交付金「地方創生拠点整備タイプ」（交付対象事業費の1／2）を活用する予定です。また、地方債（起債）については、令和4年度補正予算債（充当率100％、交付税措置率50％）により資金調達する予定です。

■建設費（工事費、備品購入費）の財源イメージ



第6章 建設スケジュール

令和4年度 キッチンスタジオ基本・実施設計

令和5年度 キッチンスタジオ建設工事

外構工事実施設計

令和6年度 キッチンスタジオ一部供用開始

外構工事

改善センター改修工事（屋上防水工事、外壁塗装、1階壁、床等）